

平成27年度

事業報告書

一般財団法人

東京都高等学校野球連盟

## 1 事業の内容

### (1) 高等学校野球の普及、振興、指導および監督

①年度内に予定していた理事会は計画通り6回を実施し、ほぼ理事会実施前に常務理事会を開催。更に、各部会を開き、審議・検討を行い、健全な高校野球育成を発展に努めた。

②責任教師・監督会議にて、野球要項を再度熟読し、中学生の体験入部の取扱いを確認した。また、中体連とも連携を取り、開会式での始球式も実施した。

③毎年の最重要課題であるフェアプレーの徹底を指導した。具体的には、加盟校の指導者、並びに部員の偵察行為を全面的に禁止した。(ビデオ撮影など)不正があった場合は、責任教師に厳しく指導した。また、バックネット裏付近での試合観戦も合わせて禁止した。学校関係者より申請があった場合撮影許可のリボンを貸与した。ほぼ周知徹底はできつつあるが、次年度も継続的にフェアプレーの精神を伝えたい。残念ながら、偵察行為をしている学校が数校発覚した。学校長から報告書を提出していただき、責任教師、監督を呼び出し厳重に注意した。

④不祥事件の根絶に向け、責任教師・監督会議の席上で、加盟校への指導を行ってきた。結果は、本年度は57件(日本高野連34件、東京都高野連止まり23件)の不祥事件があり、根気よく加盟校への危機管理の認識を伝達しなければならない。不祥事件に関しては、減少傾向にあるが、根気強く、体罰のない健全な指導を今一度、周知徹底する必要がある。

⑤ホームページは、コンテンツの充実を図り、現在では定着している速報システムなどにより、スピード感を持って情報を提供した。また、高校野球ドットコムからレポート記事のリンクを実施し、サービス向上の拡大に努めた。

⑥責任教師会議においては、5校を除く268校が参加。様々な懸案事項を詳細に説明し、理解を求めた。特に本年度実施のタイブレークについての反省と要望などを調査し報告を行った。

(1) 不祥事件の根絶に向けて指導した。特にいじめや指導者の体罰に関しては重点的に説明した。高校野球の理念を今一度再認識させるとともに健全な野球部の運営・管理を指示した。

(2) 部員登録の締切りの期日を守らない加盟校が、まだまだあり根気強く継続的に理解を求めたい。

(3) 春季大会におけるタイブレーク実施の問題点と今後の展望

タイブレークに関しては、春季大会のみ実施し、9回終了後同点の場合、10回より選択打順によるタイブレークを実施した。一次予選・本大会を通じて約20試合がタイブレーク適応の試合となった。ルール上の問題はなかったが、加盟校からは適応イニングについての意見が多数寄せられた。「味気なさがあり、延長戦の醍醐味が減少する」「これまでの試合展開がリセットされ別の試合を行うような感覚がある」などという意見が出された。しかし、「選手の将来や健康上の問題を考えるとタイブレーク制度も導入せざるを得ない」という意見もあった。

総合して考えるとタイブレークへの移行イニングを精査する必要性を実感した。アンケート結果では、圧倒的に12回終了から実施して欲しい要望が多かった。次年度への重要な検討事項課題である。

⑦本年度は㈱福岡ソフトバンクホークス監督 工藤公康 氏をお迎えして、高校野球指導者にメッセージを頂いた。ご自身が高校野球を振り返り、数々の思い出やプロ野球での成功の秘話、また本年度よりNPBの監督として優勝したその指導方針など多岐にわたるものであった。明解な語り口と説得力のある発言が聴衆を魅了し、大盛況であった。

⑧加盟校が270を超え、審判員の確保には本年度も非常に苦労した。若い世代の審判員の育成が急務である。本年度も春季大会一次予選において、学生審判の導入を実施。学生審判講習を受講した48名が塁審としてジャッジした。特に大きな問題はなく、次年度以降も継続的にこの制度を有効に活用する。学生審判経験者から東京都の審判員が育つことを熱望する。登録審判員の方も各大会の度に、審判講習会を実施し、技術の向上に努めた。連盟としても、審判員の増員に向け、推薦書の依頼を加盟校に向けた。今後審判部と連携を密にして対策を検討したい。

⑨一般財団法人化に伴い、還元事業として、加盟校へは秋季大会抽選時に背番号を配布。更に秋季大会一次予選時に硬式試合球3ダースを加盟校に配球した。

## (2) 高等学校野球大会ならびに試合の開催及び協力

### ①平成27年度春季東京都高等学校野球大会

一次予選は、24の会場に分かれ、204チーム（連合チームがあるため）が参加。3月14日（土）～23日（月）で実施。48の代表校が、4月1日（水）からの本大会に出場。本大会は4月1日（水）～14日間。決勝は26日（日）で、96校が神宮第二球場を含め8球場を使用し、開催。優勝校は日本大学第三高等学校（4年ぶり13回目）。準優勝は佼成学園高等学校。

### ②第97回全国高等学校野球選手権大会東西東京大会

朝日新聞東京本社と共催で、7月4日（土）から27日（月）までの18日間、神宮球場をはじめとする、東西13の球場を使用し開催。東東京大会は、関東第一高等学校（5年ぶり6回目）が優勝。西東京大会は、早稲田大学系属早稲田実業学校（5年ぶり28回目 出場29回）が優勝。両校が東西東京代表として甲子園出場の権利を得た。

### ③平成27年度秋季東京都高等学校野球大会

一次予選は24の会場に分かれ、252チーム（連合チームがあるため）が参加。9月5日（土）～9月22日（火）で実施。48の代表校が10月10日（土）からの本大会に出場。本大会は10月10日（土）から11日間。決勝は11月9日（月）で、48校が神宮・神宮第二球場を含め6球場を使用し開催。

なお、本年度も準決勝・決勝を神宮球場で行った。本年度も東都大学野球入替戦を高校野球終了後に開催。

優勝校は関東第一高等学校（2年ぶり4回目）。準優勝は二松學舎大学附属高等学校。

### （3）高等学校野球の調査・研究

- ①平成27年11月28日（土）に高校野球指導歴3年未満の研修会を実施。約100名の若い指導者に高校野球指導者としての在り方、健全な野球部の運営などの講義を行った。（公財）日本高等学校野球連盟副会長・前審議委員長の西岡宏堂先生をお招きして、高校野球指導者としての根本的な理念を講義頂いた。
- ②平成27年度の指導者研修会講師は(株)福岡ソフトバンクホークス 工藤公康監督をお招きして講演をいただいた。現役プロ野球監督の指導哲学とご自身の高校野球を振り返る講演に加盟校指導者は深い感銘を受け、自校の今後の指導に大いに参考となる内容で実りある講演会であった。

### （4）高等学校野球選手、部員などのスポーツ障害予防・健康増進

各大会の準々決勝より、理学療法士を球場内に常駐させ、選手のケアをさせた。選手権大会には準決勝より、理学療法士の他に看護師もお願いし、選手のみならず、応援生徒の熱中症対策を行った。生命に関わるような大きな事故もなく、選手の投球禁止などの適応者もなかった。次年度への課題として医師の帯同も視野に入れ、選手の健康管理には万全を期す必要性を感じた。選手・応援生徒の健康管理体制に関しては、引き続き学校と密に連絡をとり安全を第一に対応したい。

### （5）高等学校野球に関する講習会・研究会の開催

学生審判の講習会を2月22日（日）に実施した。会場校の24校から2名の学生審判を参加させ、基本となるジャッジの講習を開催した。基本的に自校での経験がある参加者が複数いたため、思っていたより高いレベルでの講習内容となった。次年度以降も継続的な取り組みを行いたい。

東京の登録審判員の講習会は3月1日（日）、6月21日（日）、8月30日（日）の3回を実施。審判員の技術向上のために積極的な参加があった。

記録員・アナウンス研修会は、6月21日（日）に実施。朝日新聞社の協力も得て、加盟校の代表校に丁寧に指導した。アナウンス研修は現役のアナウンサーが実技も踏まえて指導し、実践的な放送技術指導を行い、とても実のあるものとなった。指導者研修会は、2回実施。11月28日（土）には高校野球指導歴3年未満の講習を行った。（公財）日本高等学校野球連盟より西岡宏堂副会長をお招きして行った。12月5日（土）には、(株)福岡ソフトバンクホークス 工藤公康監督をお招きして、様々な経験にまつわる貴重な講演をいただいた。

(6) 野球を通じた国際交流、国際相互理解の推進

本年度は国際交流試合はなし。U18ワールドカップにおいて東京都加盟校より3名の選手が選出された。関東第一高等学校 オコエ瑠偉（3年）外野手 東海大学菅生高等学校 勝俣翔貴（3年）外野手 早稲田実業学校 清宮幸太郎（1年）内野手 大会では準優勝の成績を収めた。また、当連盟では11月8日（日）に明治神宮野球場会議室において3名の活躍と功績を讃え、表彰を行った。来るべく100回大会の準備として、100回大会事業準備委員会を発足。3年後の国際試合を計画中之である。様々な情報を参考にして今後さらに検討を進める。

(7) 高等学校野球に関する関係諸団体との協力・提携

東京都中体連、関東地区高野連、全国九地区高野連、並びに日本高野連とは密接な関係を持ちながら、各行事を遂行した。関東地区高野連とは、様々な意見交換を交わし、有意義な情報交換ができた。また、東京都中体連とも継続的な連携を維持して選手権大会の始球式も中学生に経験してもらっている。円滑な関係を保ちつつ諸団体と建設的な意見を交わし、さらなる関係構築に努めたい。

(8) その他この法人の目的達成に必要な事項

一般財団法人化に伴い、公認会計士指導の下、様々な規則の充実を図った。今後も適宜必要な事項への検討を行う。

硬式部

硬式 273校 部員数約11,000名

諸会議の状況

1、加盟校責任教師会議	5月23日（土）	1回
1、常務理事会	2月13日（金）、5月8日（金）、11月20日（金）、	3回
1、選手権運営委員会	5月25日（月）、6月5日（金）	2回
1、理事会	2月17日（火）、4月26日（日）、5月12日（火） 8月23日（日）、11月8日（日）、12月18日（金）	6回
1、選手権委員会	6月10日（水）、7月1日（水）	2回
1、抽選会	2月28日（土）、6月20日（土）、8月29日（土）、 10月5日（月）	4回
1、球場主任会議	2月17日（火）、6月10日（水）	2回
1、審判講習会	2月22日（日）、3月1日（日）、6月21日（日）、 8月30日（日）	4回
1、審判幹事会	2月26日（木）、6月18日（木）、8月27日（木）	3回

1、評議員会	2月24日(火)	1回
1、監査	2月9日(月)	1回
1、東南アジア遠征解団式	1月19日(月)	1回
1、一次予選会場校責任者会議	2月20日(金)、8月26日(木)	2回
1、開会式検討委員会	5月29日(金)	1回
1、記録員・アナウンス研修会	2月22日(日)、6月21日(日)	2回
1、審判割当会	6月28日(日)	1回
1、審判員ブロック大会中間報告会	10月7日(水)	1回
1、審判員大会中間報告会	11月15日(日)	1回
1、役員指名委員会	11月9日(月)	1回
1、100回大会記念事業委員会	10月17日(土)	1回
1、指導歴3年未満指導者研修会	11月28日(土)	1回
1、指導者研修会	12月5日(土)	1回
	福岡ソフトバンクホークス 工藤 公康 監督	1回

#### 軟式部

軟式 74校 部員数約 1,700名

#### 諸会議の状況

1、総会	4月5日(日)	1回
1、理事会	1月10日(土)、2月15日(日)、4月5日(日)、 5月3日(日)、6月14日(日)、7月31日(金)、 9月23日(日)、10月12日(土)、11月3日(火) 12月5日(土)	10回
1、記録講習会	2月15日(日)	1回
1、審判講習会	3月21日(土)	1回

#### 本連盟主催大会

##### 春季大会

支部予選：3月下旬

都大会：4月12日(日)、19日(日)、29日(水)、  
5月3日(日)、4日(月)

##### 夏季大会

7月20日(月)～31日(金)

##### 秋季大会

支部予選：8月下旬

都大会：9月6日(日)、13日(日)、20日(日)、  
21日(月)、23日(水)、26日(土)

##### 関東大会(東京開催)

11月5日(木)～11月9日(月)